

警 防 編

車両の配置状況	4 1
消防水利の状況	4 1
消防機材の配置状況	4 2
火災の概要	4 3
市町村別の火災状況	4 4
月別の火災件数	4 5
原因別の出火件数	4 6
火災件数 10 年の推移	4 6
救急の概要	4 7
市町村別の救急状況	4 8
月別、時間別の出動件数	4 9
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	5 0
程度別の搬送状況	5 1
救急出動件数 10 年の推移	5 1
応急手当の普及啓発活動状況	5 2
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 2
救助の概要	5 3
月別、市町村別の出動件数	5 3
発生場所別の出動件数	5 4
事故種別出動件数比率	5 4
出動人員、活動人員	5 5
救助出動件数 10 年の推移	5 5
通信指令系統図	5 6
119 番着信状況	5 7
医療機関案内状況	5 7

用語の定義

建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中（運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業所、工事現場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数のうち、上記の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消 防 本 部	消 防 署					合 計
			本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
指 揮 車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポ ン プ 車			1		1			2
化 学 車			1					1
は し ご 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
司 令 車				1	1	1	1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
支 援 車			1					1
その他の車両		2	1					3
合 計		3	12	3	4	3	3	28

消防水利の状況

種 別 市町村別	消火栓	防火水そう		井 戸		プールの 20t以上	合 計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	445	208	32	52	4	12	753
朝倉市 (旧杷木町)	144	60	4		2	1	211
朝倉市 (旧朝倉町)		104	7	7	2	1	121
東峰村	11	57	4			2	74
筑前町	392	269	24	1	1	8	695
合 計	992	698	71	60	9	24	1,854

消防機材の配置状況

種 別	配置先	消 防 本 部	消 防 署					合 計
			本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご		4	1				5
	三連はしご		5		1			6
	空気式救助マット		1					1
	救命索発射銃		1					1
	可搬式ウィンチ		2					2
	マンホール救助器具		1					1
	マット型空気ジャッキ		1					1
	大型油圧スプレッター		1					1
	エンジンカッター		4	1	1	1	1	8
	ガス溶断器		1					1
	チェーンソー		8	2	3	2	2	17
	大型油圧切断機		1					1
	万能斧		6	2	2	2	2	14
	可燃性ガス測定器		1	1	1	1	1	5
	空気呼吸器		24	4	7	4	4	43
	酸素呼吸器		5					5
	潜水器具一式		6					6
	救命ボート		3					3
	船外機		3					3
	投光器一式		13	1	3	1	1	19
	緩降機		1					1
	化学防護服		4					4
充電式油圧救助器具		1	1	1	1	1	5	
エアータント		2					2	
無人航空機(ドローン)	1						1	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式		2	1	1	1	1	6
	自動体外式除細動器		3	2	2	2	2	11
	ショックパンツ		2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式		2	1	1	1	1	6
	患者監視装置		2	1	1	1	1	6
	自動心臓マッサージ器		2	1	1	1	1	6
	喉頭鏡・マギール鉗子		3	1	1	1	1	7
	室内オゾン殺菌装置		2	1	1	1	1	6

火災の概要

令和6年中の出火件数は30件で前年より6件の減少となり、これは月平均2.5件、約12日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとに見ると建物火災16件（53.3%）、車両火災2件（6.7%）、その他の火災12件（40%）となっています。

損害額は37,361千円で、前年より429千円の減少となりました。また、火災により14世帯37人がり災し、死者2人、負傷者1人が発生しています。

項	目	単位	令和6年	令和5年	比較（▲減）
	火災発生件数	件	30	36	▲ 6
内 訳	建物火災	件	16	20	▲ 4
	林野火災	件			
	車両火災	件	2	4	▲ 2
	その他火災	件	12	12	0
	総損害額	千円	37,361	37,790	▲ 429
内 訳	建物損害額	千円	36,856	30,890	5,966
	（内収容物損害額）	千円	5,206	6,041	▲ 835
	林野損害額	千円			
	車両損害額	千円	203	6,639	▲ 6,436
	その他損害額	千円	302	261	41
	建物焼損床面積	m ²	902	688	214
	建物焼損表面積	m ²	23	71	▲ 48
	林野焼損面積	a			
	焼損棟数	棟	20	32	▲ 12
	り災世帯数	世帯	14	11	3
	り災人員	人	37	26	11
	死者数	人	2	1	1
	負傷者数	人	1	1	0
	一月平均火災件数	件	2.5	3.0	▲ 0.5
	出火率	件	3.6	4.3	▲ 0.7
	管内人口	人	82,580	82,837	▲ 257

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口）

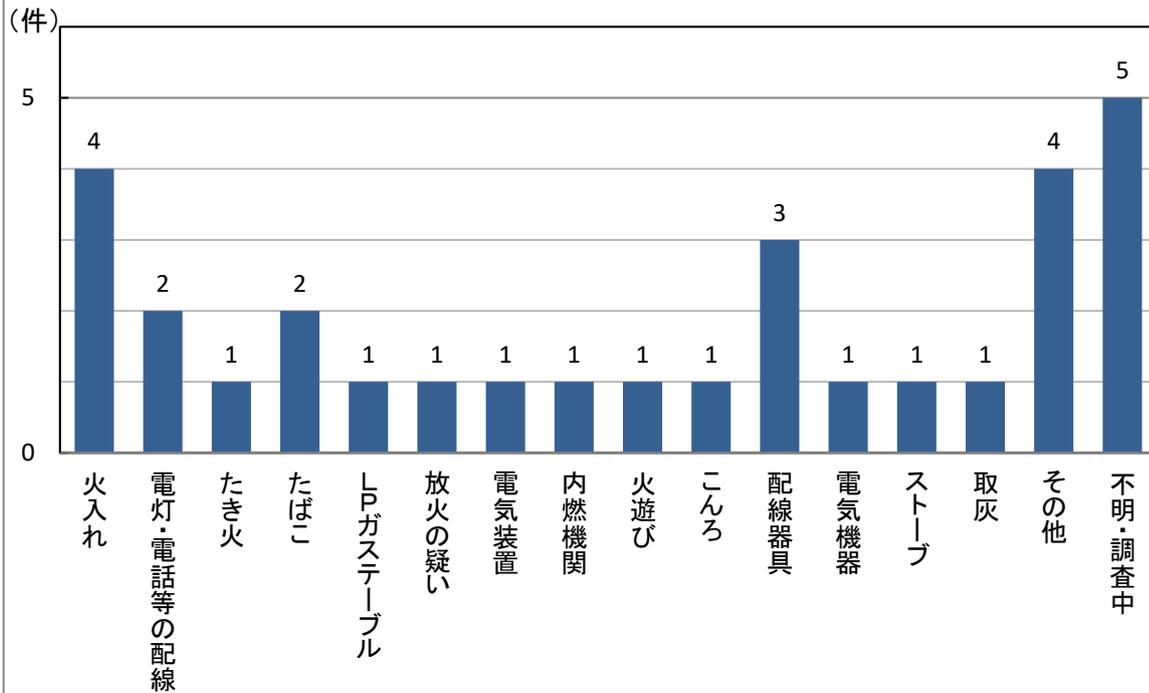
市町村別の火災状況

項目		市町村別		合計		朝倉市		東峰村		筑前町	
		年別		令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
火災件数	建物火災	16	20	7	12	1		8	8		
	林野火災										
	車両火災	2	4	2	2				2		
	その他火災	12	12	9	7		1	3	4		
	合計	30	36	18	21	1	1	11	14		
損害額 (千円)	建物損害額	36,856	30,890	24,057	26,641	9,127		3,672	4,249		
	(内収容物損害額)	5,206	6,041	1,479	4,449	2,942		785	1,592		
	林野損害額										
	車両損害額	203	6,639	203	4,340				2,299		
	その他損害額	302	261	299	70		21	3	170		
	合計	37,361	37,790	24,559	31,051	9,127	21	3,675	6,718		
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	902	688	143	514	538		221	174		
	建物焼損表面積(m ²)	23	71		56			23	15		
	林野焼損面積(a)										
車両焼損台数		2	10	2	4				6		
焼損棟数	全焼	4	8	1	2	1		2	6		
	半焼	1	2		2	1					
	部分焼	7	9	2	5			5	4		
	ぼや	8	13	4	7			4	6		
	合計	20	32	7	16	2		11	16		
り災世帯数	全損	3	3	1	2	1		1	1		
	半損	1	1	1	1						
	小損	10	7	5	3			5	4		
	合計	14	11	7	6	1		6	5		
り災人員		37	26	21	15	1		15	11		
死傷者	死者	2	1	1	1			1			
	負傷者	1	1					1	1		

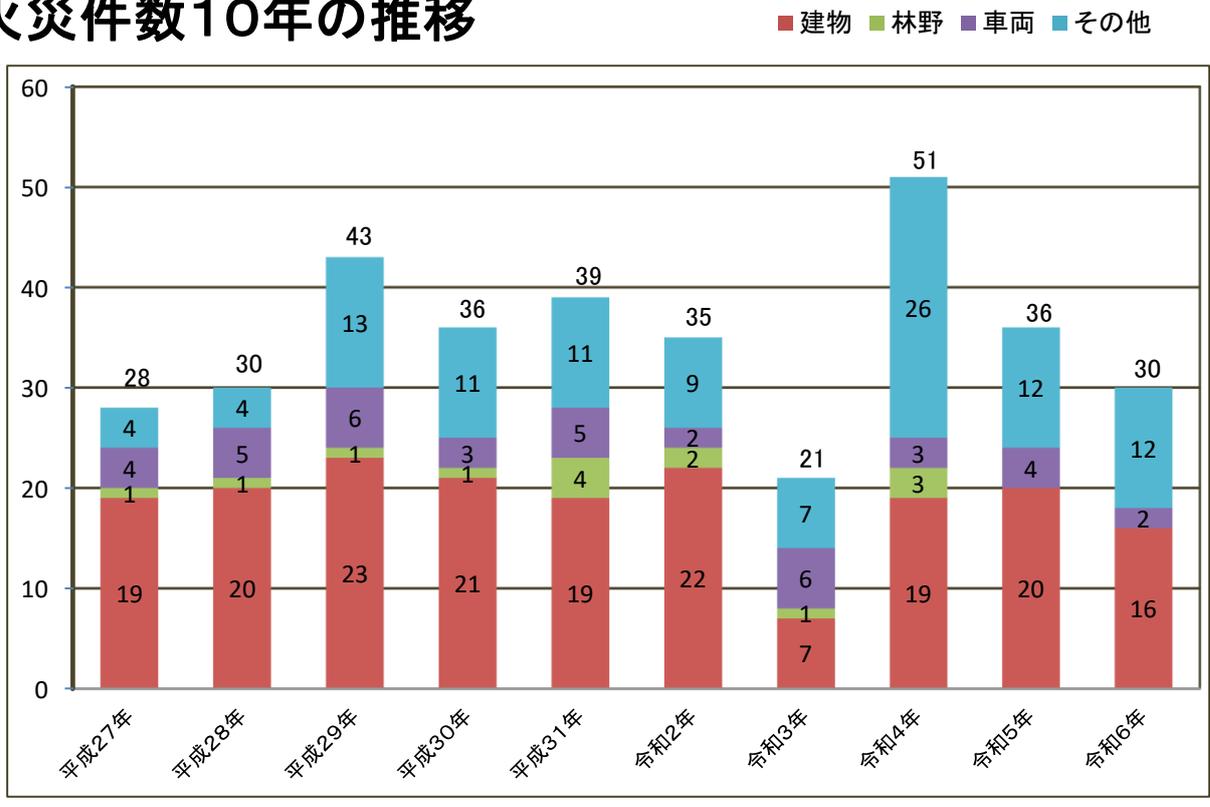
月別の火災件数

項目		月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災発生件数	建物火災	16	1	2	3	2	1		1	2	1	1		2
	林野火災													
	車両火災	2	1			1								
	その他火災	12	2	1	2		3	1	1	1	1			
	合計	30	4	3	5	3	4	1	2	3	2	1		2
損害額 (千円)	建物損害額	36,856	9,065	724	16,577	396	185		4	9,379	262	217		47
	(内収容物損害額)	5,206	401	198	1,028	170			4	3,194	96	101		14
	林野損害額													
	車両損害額	203	170			33								
	その他損害額	302	207				3		92					
	合計	37,361	9,442	724	16,577	429	188		96	9,379	262	217		47
焼損面積	建物焼損床面積 (㎡)	902	126	1	189	44				538		4		
	建物焼損表面積 (㎡)	23			12	1	7				3			
	林野焼損面積(a)													
車両焼損台数		2	1			1								
焼損棟数	全焼	4	1		1	1				1				
	半焼	1								1				
	部分焼	7			4		1				1	1		
	ぼや	8		2	1	1			1	1				2
	合計	20	1	2	6	2	1		1	3	1	1		2
り災世帯数	全損	3	1		1					1				
	半損	1			1									
	小損	10		2	3				2			1		2
	合計	14	1	2	5				2	1		1		2
り災人員		37	2	5	12				7	1		4		6
死傷者	死者	2			1		1							
	負傷者	1			1									

原因別の出火件数



火災件数10年の推移



救急の概要

令和6年中の救急出動件数は4,523件で、前年に比べて71件の増加となりました。これは1日平均12.4件（前年12.2件）で約116分に1件の割合で出動したことになります。これを事故種別ごとに見ると急病3,006件（66.5%）、一般負傷710件（15.7%）、転院搬送369件（8.2%）、交通事故289件（6.4%）、これ以外の出動件数は149件（3.2%）となっています。

搬送人員は4,145人で、管内住民の約20人に1人が救急搬送されたこととなります。

項	目	単位	令和6年	令和5年	比較（▲減）
出	動	件	4,523	4,452	71
搬	送	件	4,118	3,981	137
不	搬	送	405	471	▲ 66
出 動 件 数 の 内 訳	火	災	3	3	0
	自	然	0	3	▲ 3
	水	難			
	交	通	289	268	21
	労	働	65	100	▲ 35
	運	動	25	19	6
	一	般	710	700	10
	加	害	5	9	▲ 4
	自	損	33	28	5
	急	病	3,006	2,923	83
そ の 他	転	院	369	367	2
	医	師			
	資	器			
	そ	の	18	32	▲ 14
搬	送	人	4,145	4,015	130
傷 病 程 度	死	亡	94	87	7
	重	症	485	465	20
	中	等	2,065	1,883	182
	軽	症	1,501	1,580	▲ 79
	そ	の			
1	日	平	12.4	12.2	0.2
1	隊	平	905	890	15
救	急	車	管内住民約20人に1人	管内住民約21人に1人	
管	内	人	82,580	82,837	▲ 257

（注）人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項 目	単位	朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	管 外	合 計	
出 動 件 数	件	2,883	108	1,531	1	4,523	
搬 送 件 数	件	2,623	89	1,405	1	4,118	
搬 送 人 員	人	2,635	89	1,419	2	4,145	
出 動 件 数 の 内 訳	火 災	件	1	1	1	3	
	自 然 災 害	件					
	水 難	件					
	交 通 事 故	件	175	10	103	1	289
	労 働 災 害	件	37	1	27		65
	運 動 競 技	件	16		9		25
	一 般 負 傷	件	465	17	228		710
	加 害	件	3		2		5
	自 損 行 為	件	21	3	9		33
	急 病	件	1,833	75	1,098		3,006
	そ の 他	転 院 搬 送	件	318	1	50	369
		医 師 搬 送	件				
		資 器 材 搬 送	件				
そ の 他		件	14		4	18	
傷 病 程 度	死 亡	人	68	5	21	94	
	重 症	人	338	14	133	485	
	中 等 症	人	1,302	45	716	2,065	
	軽 症	人	927	25	549	1,501	
	そ の 他	人					
1 日 平 均 出 動 件 数	件	7.9	0.3	4.2	0.0	12.4	
各 市 町 村 人 口	人	50,016	30,801	1,763		82,580	

(注) 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

月別、時間別の出動件数

(単位:件)

種別 月別 時間帯別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	427				17	1	2	62		2	310	31			2
2月	332				23	3	1	57			226	22			
3月	297	1			11	2	3	43	1	4	210	21			1
4月	323				23	7	2	53		4	202	30			2
5月	363	1			30	5	2	56		5	223	39			2
6月	367				27	5	4	60		3	236	30			2
7月	432				24	10	2	56		5	299	32			4
8月	440	1			20	10	2	70	2	2	309	24			
9月	360				30	12	5	51		2	228	29			3
10月	382				26	4	1	68		4	239	40			
11月	342				23	5	1	61	2	2	216	32			
12月	458				35	1		73			308	39			2
合計	4,523	3			289	65	25	710	5	33	3,006	369			18
0~2	194				2	1		21	1	1	155	10			3
2~4	161				4	1		22		3	126	5			
4~6	163				4			20		3	134	1			1
6~8	261				23	1	1	37		3	194	2			
8~10	577				33	8	2	118		6	375	34			1
10~12	575	1			43	14	9	93		2	329	83			1
12~14	570				50	11	7	73		3	345	75			6
14~16	474	1			41	14	3	67	1	2	286	57			2
16~18	463				34	7	1	95	3	3	262	58			
18~20	481				31	4	2	67		4	345	26			2
20~22	332				14	4		59		2	246	5			2
22~24	272	1			10			38		1	209	13			

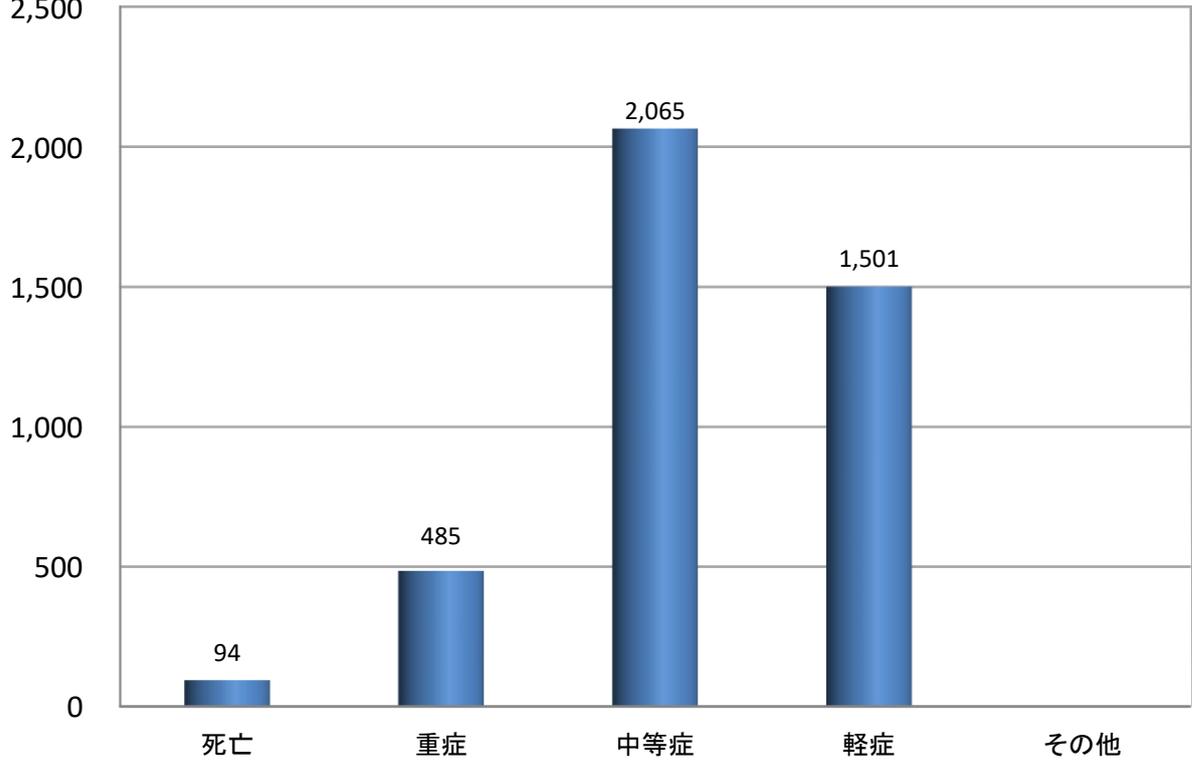
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況

(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	4,145	2			272	65	24	647	6	19	2,741	369			
年齢区分別	新生児	1									1				
	乳幼児	145			4			20			114	7			
	少年	146			26	1	18	17	1	1	78	4			
	成人	988			140	47	4	88	3	15	617	74			
	高齢者	2,865	2		102	17	2	522	2	3	1,931	284			
程度別	死亡	94			3			18	1	1	70	1			
	重症	485	2		14	10		86	1	3	278	91			
	中等症	2,065			85	22	6	299	2	9	1,387	255			
	軽症	1,501			170	33	18	244	2	6	1,006	22			
	その他														
月別	1月	382			14	1	2	55		2	277	31			
	2月	292			18	3	1	49			199	22			
	3月	271	1		9	2	2	41	1	3	191	21			
	4月	304			25	7	2	50		2	188	30			
	5月	330	1		24	5	2	50		3	206	39			
	6月	330			27	5	4	52		2	210	30			
	7月	400			22	10	2	49		3	282	32			
	8月	406			18	10	2	64	3		285	24			
	9月	336			32	12	5	47		1	210	29			
	10月	358			27	4	1	65		2	219	40			
	11月	319			20	5	1	58	2	1	200	32			
	12月	417			36	1		67			274	39			

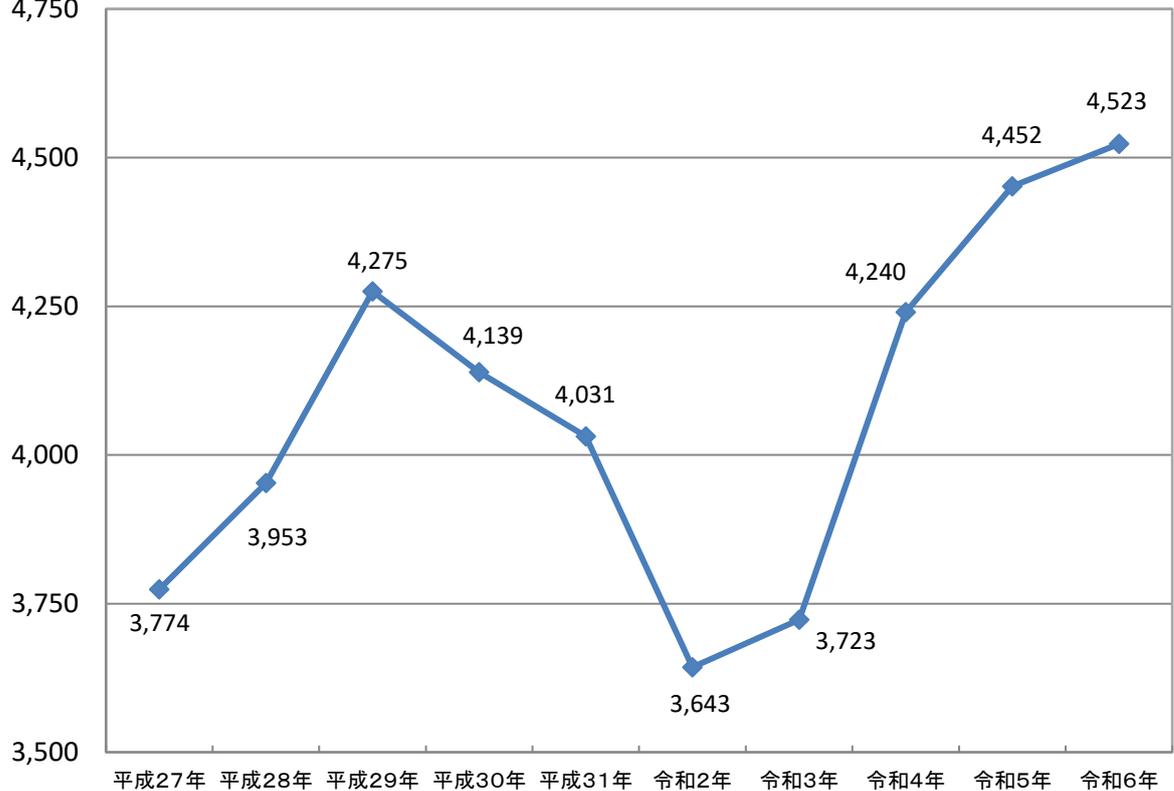
程度別の搬送状況

(人) 2,500



救急出動件数10年の推移

(件) 4,750



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年 別	救 命 講 習			
	講 習 回 数	新規受講者数	再受講習者数	受講者合計
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
平成 30 年	28	679	33	712
平成 31 年	32	708	41	749
令和 2 年	26	473	43	516
令和 3 年	15	274	32	306
令和 4 年	28	464	18	482
令和 5 年	32	599	46	645
令和 6 年	37	690	98	788
合 計	512	10,943	1,113	12,056

※ 平成 29 年及び平成 30 年は、九州北部豪雨災害のため救命講習を一時中止しています。
令和 2 年及び令和 3 年は、新型コロナウイルス感染拡大のため、救命講習の中止や縮小をしています。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成 16 年 4 月 1 日より救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	合 計 (事業所)
75	12	16	103

平成 16 年度から令和 6 年度までに各事業所の協力を得て 103 事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救助の概要

令和6年中の救助出動件数は68件で、前年より4件の減少となり、事故種別ごとに見ると交通事故29件（42.6%）、建物等による事故15件（22.1%）、ガス及び酸欠事故3件（4.4%）、その他の事故21件（30.9%）となっています。これらの事故で延べ727人の隊員が出動し、車両242台が出動しています。68件の出動件数の内39件（57.4%）の救助活動を実施し、40人を救助しました。

項目	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
出動件数			29					15	3		21	68	72
出動人員			325					146	28		228	727	801
救助人員			17					9	3		11	40	42
出動車両台数			109					49	9		75	242	267

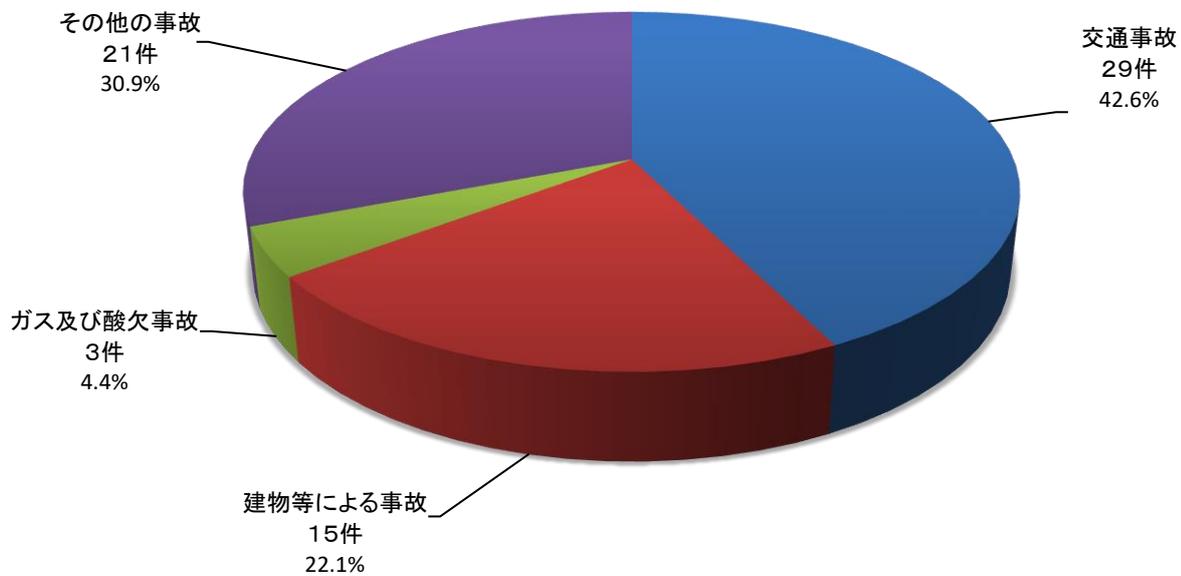
月別、市町村別の出動件数

月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
1月			1					1				2	7
2月			3					1				4	9
3月			4								5	9	2
4月			2					1			4	7	5
5月											2	2	6
6月			5					2			2	9	7
7月			3					3			2	8	3
8月			4						2		1	7	6
9月			1					3			4	8	5
10月			3					1	1			5	4
11月			2									2	6
12月			1					3			1	5	12
合計			29					15	3		21	68	72
朝倉市			21					10	2		11	44	42
東峰村			2						1		2	5	6
筑前町			6					5			8	19	22
管外													2

発生場所別の出動件数

発生場所		事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
			建物	建物以外										
屋内	住居									14			5	19
	その他の屋内									1				1
屋外	道路	高速自動車道			2									2
		その他の道路			23									23
	水面	内水面			2								3	5
		外水面												
	山岳												6	6
	その他の屋外				2						3		7	12
地下														
その他														
合計					29					15	3		21	68

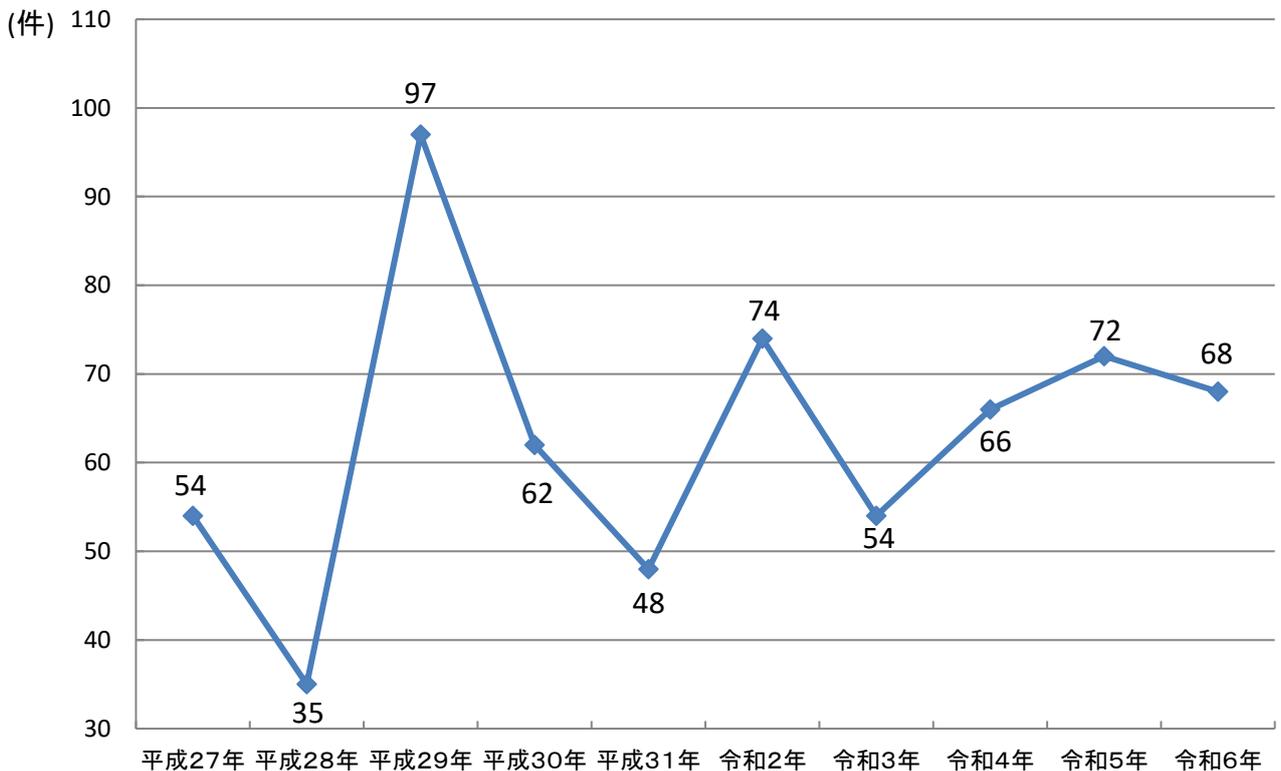
事故種別出動件数比率



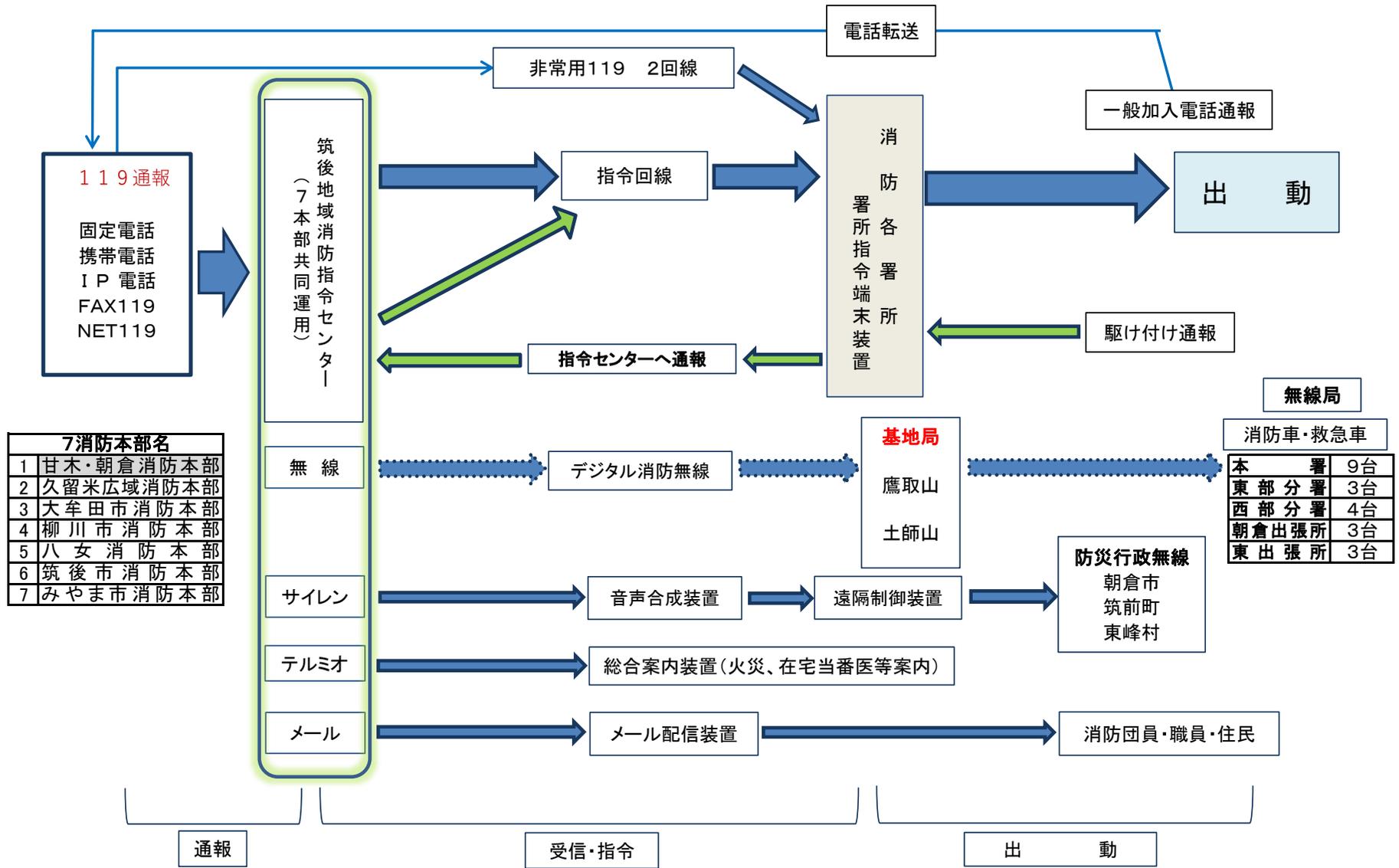
出動人員、活動人員

項目		事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		火	災										
		建 物	建 物 以 外										
出 動 人 員	救 助 隊 員			112					59	12		83	266
	消 防 隊 員			110					39	7		80	236
	救 急 隊 員			103					48	9		65	225
	消 防 団 員												
	合 計			325					146	28		228	727
活 動 人 員	救 助 隊 員			41					28	8		31	108
	消 防 隊 員			41					20	2		47	110
	救 急 隊 員			49					24	9		32	114
	消 防 団 員												
	合 計			131					72	19		110	332

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



7消防本部名

1	甘木・朝倉消防本部
2	久留米広域消防本部
3	大牟田市消防本部
4	柳川市消防本部
5	八女消防本部
6	筑後市消防本部
7	みやま市消防本部

無線局

消防車・救急車

本署	9台
東部分署	3台
西部分署	4台
朝倉出張所	3台
東出張所	3台

119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	5	3	10	4	8	0	2	8	5	2	1	3	51
救急 救助	452	357	315	339	374	377	440	462	369	395	358	485	4,723
その他 災害	13	8	9	7	11	12	20	17	14	9	10	13	143
合計	470	368	334	350	393	389	462	487	388	406	369	501	4,917

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市	筑前町	東峰村	合計
	877	418	30	1,325

医療機関案内状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	5	2	2	1	3	1	10	5	3	1	1	9	43
外科	1	1	3	5	3	4	4	2	1	1	3	2	30
小児科	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	5
特殊科	0	0	0	2	3	1	0	3	3	1	1	0	14
合計	6	4	5	9	9	6	14	12	7	4	5	11	92